１５．賃金改定状況

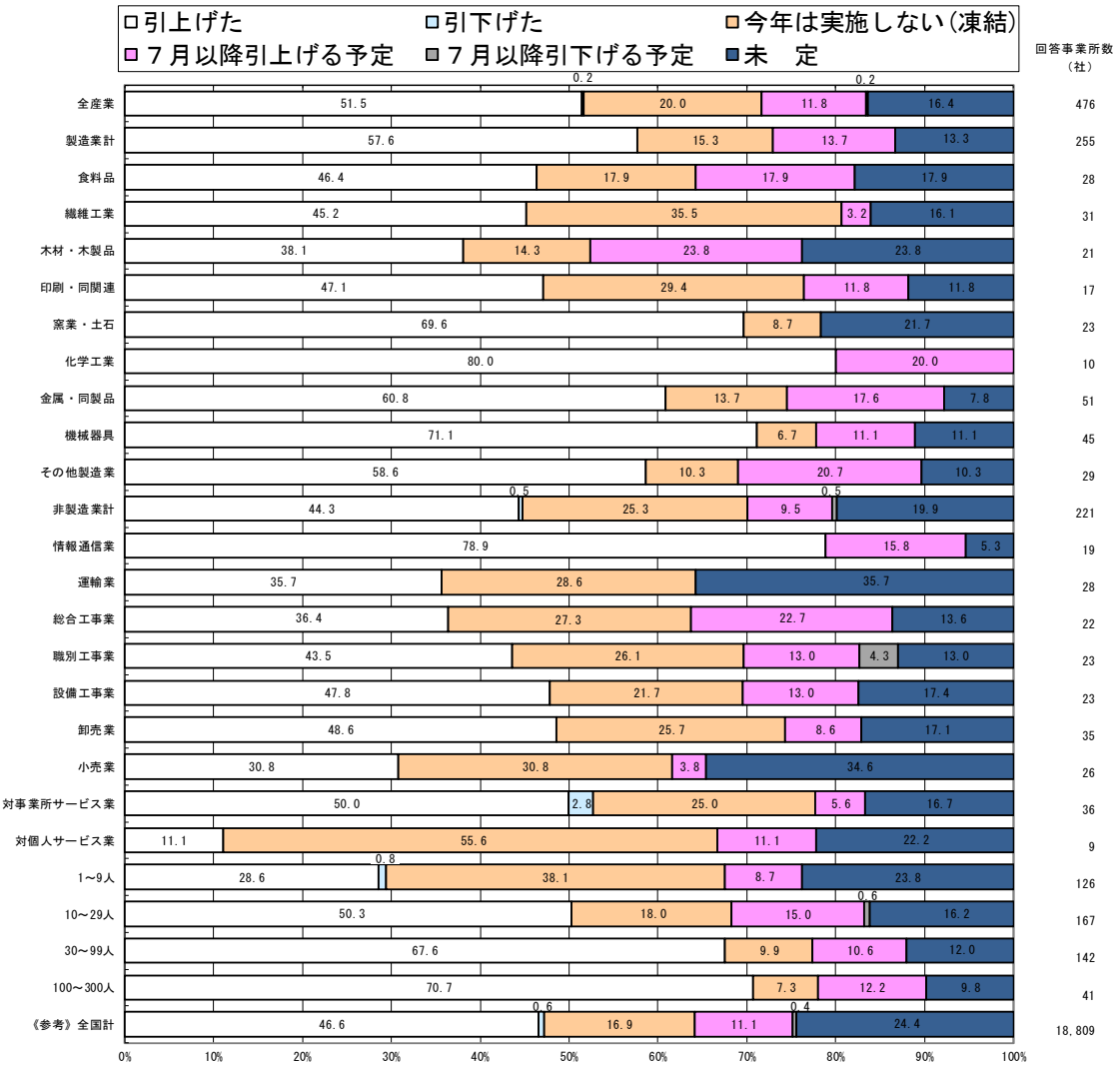
①　賃金改定実施状況

平成２９年１月１日から７月１日までの間の賃金改定の実施状況については、全産業で「引上げた」５１．５％、「引下げた」０．２％、「今年は実施しない（凍結）」２０．０％、「７月以降引上げる予定」１１．８％、「７月以降引下げる予定」０．２％、「未定」１６．４％となっている。

なお、「引上げた」事業所の割合が高い業種は「化学工業」で８０．０％、次いで「情報通信業」７８．９％、「機械器具」が７１．１％となっている。

一方、「今年は実施しない（凍結）」事業所の割合が高い業種は、「対個人サービス業」で５５．６％、次いで「繊維工業」３５．５％、「小売業」３０．８％となっている。

第 31 図表　賃金改定実施状況



② 改定額・率

平成２９年１月１日から７月１日までの間に賃金改定を実施した事業所の改定後の平均所定内賃金については、全産業で２５９，５５９円（前年２５５，３３１円）、平均改定額は５，４９２円（前年４，４５８円）、平均改定率は２．１６％（前年１．７８％）となっている。

業種別で平均改定額が最も高いのは、「職別工事業」１２，２８７円（４．３３％）で、最も低いのは、「対個人サービス業」８２３円（０．３６％）となっている。

第 32 図表　賃金改定額・率（平成２９年１月１日～７月１日）（加重平均）

業種・規模 ＼ 項目		改定後の平均所定内賃金（円）	平均改定額（円）	平均改定率（%）	対象者数（人）
全産業平均		259,559	5,492	2.16	7,995
製造業	平均・小計	253,816	5,012	2.01	5,139
	食料品	244,046	3,775	1.57	394
	繊維工業	234,101	4,566	1.99	252
	木材・木製品	258,474	4,992	1.97	254
	印刷・同関連	270,532	3,804	1.43	349
	窯業・土石	266,891	5,676	2.17	170
	化学工業	284,848	5,408	1.94	128
	金属・同製品	250,028	4,608	1.88	1,060
	機械器具	251,508	4,537	1.84	1,824
	その他製造業	259,226	8,058	3.21	708
非製造業	平均・小計	269,893	6,357	2.41	2,856
	情報通信業	291,290	5,664	1.98	545
	運輸業	240,344	5,625	2.40	405
	総合工事業	291,634	11,644	4.16	314
	職別工事業	295,924	12,287	4.33	62
	設備工事業	282,985	10,966	4.03	197
	卸売業	280,920	4,523	1.64	518
	小売業	238,439	6,718	2.90	335
	対事業所サービス業	264,045	3,922	1.51	395
	対個人サービス業	227,787	823	0.36	85
製造業	1～9人	248,761	3,384	1.38	72
	10～29人	237,439	5,114	2.20	569
	30～99人	257,345	5,443	2.16	2,534
	100～300人	254,192	4,485	1.80	1,964
非製造業	1～9人	273,758	4,695	1.74	103
	10～29人	265,540	5,884	2.27	605
	30～99人	268,078	5,889	2.25	1,143
	100～300人	274,181	7,345	2.75	1,005
《参考》全国計		251,626	5,161	2.09	256,874

続いて、平成２９年１月１日から７月１日までの間に、賃金を「引上げた」「７月以降に引上げる予定」と回答した事業所に、賃金改定の内容について聞いたところ、全産業で、「定期昇給」が５８．３％で最も多く、次いで、「基本給の引上げ（定期昇給制度のない事業所)」３５．３％、「諸手当の改定」１４．７％の順となっている。

第 33 図表　賃金改定の内容（複数回答）

業種・規模 ＼ 項目	回答事業所数（社）	定期昇給 回答数 / %	ベースアップ 回答数 / %	基本給の引上げ（定期昇給制度のない事業所） 回答数 / %	諸手当の改定 回答数 / %	臨時給与（夏季・年末賞与など）の引上げ 回答数 / %
全産業	252	147 58.3	28 11.1	89 35.3	37 14.7	26 10.3
製造業　計	149	84 56.4	17 11.4	57 38.3	26 17.4	17 11.4
食料品	16	7 43.8	3 18.8	5 31.3	4 25.0	1 6.3
繊維工業	11	6 54.5		5 45.5	1 9.1	1 9.1
木材・木製品	13	8 61.5	3 23.1	3 23.1	2 15.4	1 7.7
印刷・同関連	7	5 71.4	1 14.3	2 28.6		1 14.3
窯業・土石	12	8 66.7		3 25.0	1 8.3	1 8.3
化学工業	8	4 50.0		4 50.0	3 37.5	2 25.0
金属・同製品	36	20 55.6	4 11.1	14 38.9	8 22.2	5 13.9
機械器具	30	17 56.7	5 16.7	13 43.3	3 10.0	1 3.3
その他	16	9 56.3	1 6.3	8 50.0	4 25.0	4 25.0
非製造業　計	103	63 61.2	11 10.7	32 31.1	11 10.7	9 8.7
情報通信業	15	10 66.7		5 33.3	1 6.7	
運輸業	8	5 62.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5
総合工事業	12	9 75.0		3 25.0	1 8.3	
職別工事業	12	5 41.7	1 8.3	5 41.7	1 8.3	3 25.0
設備工事業	14	8 57.1	2 14.3	4 28.6	2 14.3	1 7.1
卸売業	17	12 70.6	1 5.9	6 35.3	1 5.9	
小売業	5	2 40.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0
対事業所サービス業	18	12 66.7	3 16.7	3 16.7	2 11.1	3 16.7
対個人サービス業	2		1 50.0	2 100.0		
1～9人	40	16 40.0	1 2.5	20 50.0	1 2.5	4 10.0
10～29人	94	46 48.9	8 8.5	37 39.4	17 18.1	11 11.7
30～99人	90	64 71.1	16 17.8	26 28.9	14 15.6	9 10.0
100～300人	28	21 75.0	3 10.7	6 21.4	5 17.9	2 7.1
≪参考≫全国計	9,427	5,067 53.7	1,393 14.8	3,372 35.8	1,390 14.7	984 10.4

更に、平成２９年１月１日から７月１日までの間に、賃金を「引上げた」「７月以降に引上げる予定」と回答した事業所に、賃金改定の決定要素について聞いたところ、全産業で「企業の業績」が６７．６％で最も多く、次いで、「労働力の確保・定着」５１．８％、「世間相場」２２．５％の順となっている。

第 34 図表　賃金改定の決定要素（複数回答）

業種規模＼項目	回答事業所数（社）	企業の業績 回答数 %	世間相場 回答数 %	労働力の確保・定着 回答数 %	物価の動向 回答数 %	労使関係の安定 回答数 %	親会社又は関連会社の改定の動向 回答数 %	前年度の改定実績 回答数 %	賃上げムード 回答数 %	消費税増税 回答数 %	重視した要素はない 回答数 %	その他 回答数 %
全産業	284	192 67.6	64 22.5	147 51.8	12 4.2	53 18.7	10 3.5	52 18.3	12 4.2	1 0.4	10 3.5	14 4.9
製造業　計	171	114 66.7	39 22.8	86 50.3	10 5.8	34 19.9	8 4.7	33 19.3	9 5.3	1 0.6	7 4.1	6 3.5
食料品	18	12 66.7	4 22.2	14 77.8	1 5.6	3 16.7		5 27.8	2 11.1			
繊維工業	14	12 85.7	1 7.1	8 57.1	1 7.1	2 14.3		3 21.4	1 7.1			1 7.1
木材・木製品	13	6 46.2	2 15.4	5 38.5		1 7.7			1 7.7		1 7.7	
印刷・同関連	10	8 80.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0		1 10.0	1 10.0		1 10.0	
窯業・土石	15	5 33.3	2 13.3	6 40.0		3 20.0	2 13.3	2 13.3			4 26.7	
化学工業	10	7 70.0	2 20.0	3 30.0		2 20.0		1 10.0			1 10.0	
金属・同製品	38	29 76.3	9 23.7	21 55.3	3 7.9	10 26.3	1 2.6	7 18.4	3 7.9			3 7.9
機械器具	34	22 64.7	12 35.3	15 44.1	2 5.9	7 20.6	4 11.8	10 29.4	1 2.9			
その他	19	13 68.4	6 31.6	11 57.9	2 10.5	5 26.3	1 5.3	4 21.1		1 5.3		2 10.5
非製造業　計	113	78 69.0	25 22.1	61 54.0	2 1.8	19 16.8	2 1.8	19 16.8	3 2.7		3 2.7	8 7.1
情報通信業	18	14 77.8	2 11.1	9 50.0		1 5.6		4 22.2				3 16.7
運輸業	9	6 66.7	1 11.1	6 66.7		2 22.2		1 11.1			1 11.1	
総合工事業	13	10 76.9	4 30.8	7 53.8	1 7.7	1 7.7		3 23.1				1 7.7
職別工事業	12	7 58.3	2 16.7	10 83.3		3 25.0		1 8.3	1 8.3		1 8.3	
設備工事業	14	9 64.3	6 42.9	10 71.4	1 7.1	3 21.4		2 14.3	1 7.1			1 7.1
卸売業	18	13 72.2	4 22.2	8 44.4		2 11.1		2 11.1	1 5.6		1 5.6	2 11.1
小売業	8	3 37.5	2 25.0	4 50.0		2 25.0		2 25.0				
対事業所サービス業	19	15 78.9	3 15.8	6 31.6		5 26.3	2 10.5	4 21.1				1 5.3
対個人サービス業	2	1 50.0	1 50.0	1 50.0								
1～9人	44	22 50	11 25	23 52.3	1 2.3	6 13.6		5 11.4	2 4.5		4 9.1	
10～29人	105	72 68.6	23 21.9	50 47.6	5 4.8	25 23.8	2 1.9	22 21	5 4.8	1 1	5 4.8	5 4.8
30～99人	105	73 69.5	16 15.2	63 60	5 4.8	19 18.1	4 3.8	21 20	5 4.8		1 1	8 7.6
100～300人	30	25 83.3	14 46.7	11 36.7	1 3.3	3 10	4 13.3	4 13.3				1 3.3
≪参考≫全国計	10,109	6,428 63.6	2,444 24.2	5,449 53.9	666 6.6	2,084 20.6	362 3.6	1,926 19.1	520 5.1	121 1.2	280 2.8	454 4.5